

Case : 267

前かがみになったところ、入浴用いすが前傾して転落しそうになる

場面の説明

利用者が前かがみになったところ、突然入浴用いすのバランスが崩れて前傾し、座面から投げ出されてしまった



利用シーン	 入浴
主な利用場所	 浴室・脱衣所
介護保険の種目	 入浴補助用具
分類コード (CCTA95)	093303 (入浴用チェア)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

床に置いた洗面器に手を伸ばすなど、無理な姿勢で前かがみになったことなどが直接の原因ですが、浴室床の水勾配によっていす自体の安定感が欠けていた、利用者の脚力が低下しており、身体を支えられなかったことなども要因として考えられます。入浴用いすは、浴室での立ち座りを補助する目的では効果的な福祉用具ですが、床に置いたものを取りづらくなるといった短所もあります。立ち座りだけでなく動作全般に気を配り、すべての動作が安全に行われるよう、洗面器置台の利用などを合わせて検討する必要があります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：かがまなければ取れないモノを床に置いていた

人：立ち上がりのことだけを考慮して、床の洗面器に手が届きにくくなることを説明していなかった

環境：浴室だったので床面に排水のための勾配が付いていた